



令和6年10月30日(水)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

- 相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
- すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
- 元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

- 安全な学校 ○温かい学校
- 笑顔があふれる学校
- 「中島小大好き」と言える学校
- 成長(学習)し続ける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携する学校

思い出いっぱいの修学旅行 10/17・18

～「元気」「笑顔」というお土産を持って帰ってきました～

10月17日(木)・18日(金)、2日間の修学旅行が終わりました。小学校生活最大の行事である修学旅行は、6年生の心にどのように残ったでしょうか。出発式の校長あいさつで、「一人一人が自ら考えて行動(考動)し、たくさん学びたくさん楽しんで、大きな成果と感動のある修学旅行にしてほしい。」と話しました。みんなで決めた修学旅行のスローガンは『笑』。「笑い合おう!」を合言葉に、修学旅行のめあて『みんなで協力して楽しみ、絆を深めよう』のもと、しおりを見て自ら行動する6年生の姿に、成長を感じました。5分前行動をみんなで守り、すべての場所で時間に余裕をもって見学することができました。(実際は、常に5分前よりもっと早く集合していて、感心しました。)2日間で勉強したことも、感動したことも、楽しんだことも、すべてこれからの学校生活のエネルギーに変えて、卒業までの5か月、歩みを止めずに成長し続けることを願っています。

10月17日(木)出島

最初の訪問地は「出島」です。徳川幕府の命により築造された人口の島「出島」。1951年より復元整備が進められています。昔と同じように出島表門橋を渡り、スタッフ扮する門番に出迎えられて、島に入ると、まるで19世紀初めにタイムスリップしたかのような空間が広がっていました。江戸時代の生活を模した部屋や、発掘調査で出土した資料の展示、明治時代から残る洋館など、班で見学しました。どれも興味深く、時間はあっという間に過ぎていきました。

10月17日(木)平和公園・長崎原爆資料館

次の訪問地は「平和公園」です。平和集会では、平和を祈って黙とうし、折り鶴の献納を行いました。集会を終えると、原爆落下中心地を見学しながら、徒歩で昼食場所の「園田真珠」へと向かいました。お土産を買い、おいしい昼食をいただいた後、再び徒歩で原爆資料館へと向かいました。資料館では、被爆された方の講話を伺うことができました。平和な世の中を作っていくために、戦争の悲惨さを風化させてはいけません。改めて平和について考えるとても貴重な時間となりました。

10月17日(木)柳川白柳荘

原爆資料館での平和学習を終え、バスで柳川の白柳荘へと向かいました。出発してすぐに、如己堂(によこどう)と浦上天主堂を車窓から見学。そこからホテルまではレクリエーションで盛り上がり、2時間余りのバスの旅も、楽しい時間となりました。白柳荘に到着し、夕食とお風呂の後は、それぞれの部屋で楽しく過ごしました。1部屋3～5人、布団でゴロゴロしながらゆっくりおしゃべりすることができました。翌朝の起床時間もバッチリ! 入館式・退館式も上手に進行することができました。

10月18日(金)柳川&三池港

朝食を済ませ、8時に白柳荘を出発。「水の都」柳川の掘割を散策後、柳川藩主立花邸御花へ。迎賓館として明治の頃に建てられた西洋館と見事な庭園に見とれてしまいました。その光景とは打って変わって、次は三池港近代化産業遺産を車窓から見学。近代日本の急成長を支えた「製鉄」「造船」「紡績」といった近代工業のエネルギー源として不可欠だった『石炭』。日本最大規模を誇る三池炭鉱の歴史を感じました。

10月18日(金)グリーンランド

最後の訪問地は、わくわく楽しみにしていた「グリーンランド」です。開園時間より早く入園することができ、大喜びでした。途中、園内にあるホテルブランカでおいしく昼食をいただき、再び班で活動。最後の買い物タイムも含めて約5時間、班のメンバーと相談しながらたくさんのアトラクションを楽しみました。今まで家族で行ったこともあると思いますが、友達と行くとまた格別です。楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。みんな元気で笑顔いっぱい帰ってきました。

保護者の皆様へ 2日間の修学旅行は大きな病気・発熱等もなく無事に終わることができました。6年間を共に過ごしてきた仲間との修学旅行は、集合時間をしっかり守って班行動をするなど、実りのある思い出深いものとなりました。今後も最上級生としての『力』を学校生活の様々な場面で発揮してほしいと願っています。たくさんのご協力をありがとうございました。